

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
地理歴史	日本史B	4	2-4～2-7

1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> 我が国の歴史の展開を国際関係に結びつけ学び、世界的視野にたち総合的に考察させる。 我が国の文化と伝統の特色について認識を深め、歴史的思考力、判断する力を培う。 国民としての自覚と、国際社会を主体的に生きる日本人としての資質を養う。 歴史の中における人間交流をつかむことにより、人権意識を向上させながら十分な理解と認識を持つことができるようにする。
--

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1部原始・古代 第1章 古代社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 大陸からの影響を受けつつも、独自の制度や文化が展開され、日本の原型が築かれたことを理解させる。 天皇を中心として律令に基づいた政治がなされたことを理解させる。 律令国家としての性質が変化し、摂関政治が始まったことを理解させる。 武士の台頭により貴族政治から武家政治へと移る過程を理解させる。 ☆五色の賤と言われる世界的に見て奴隷の身分にあたる人々の生活を把握させる。
	第2章 律令国家の形成	
	第3章 貴族政治の展開	
	第2部中世 第4章 武家社会の形成	
2 学 期	第5章 武家社会の成長	<ul style="list-style-type: none"> 武家社会が進む中で、鎌倉・室町・江戸のそれぞれの幕府の仕組みと変遷とを、事象を追って理解させる。 長く続き安定を誇った江戸幕府の制度や庶民の生活など、社会の様子を理解させる。 黒船の来航により社会が大きく変化し、それにともなって幕府の政策も変化していったことを理解させる。 欧米に対抗し並び立つために、日本がとった政策を制度や当時の思想から理解させる。 ☆制度上の作られた身分制度を理解させる。
	第3部近世 第6章 幕藩体制の成立	
	第7章 幕藩体制の展開	
	第8章 幕藩体制の動揺	
	第4部近代・現代 第9章 近代国家の成立	
3 学 期	第10章 近代日本とアジア	<ul style="list-style-type: none"> 富国強兵政策をとって西洋に追いつこうとしたことにより軍国主義へと進んでいったことを理解させる。 大戦に敗れた日本がGHQのもとで新しい体制を作り出していったことを理解させる。
	第11章 現代の世界と日本	

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査やノートなど提出物を含む授業態度により評価する。
------	------------------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	歴史的・地理的事象について関心と課題意識をもち、意欲的に追究することを通して、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	歴史的・地理的事象を世界的視野に立って多角的、多面的に考察するとともに、国際社会の変化に的確に対応し、公正に判断する。	諸資料を吟味して確実なものを選択し活用することを通して歴史的・地理的事象を追究する方法を身に付け、それらの過程や結果を的確に表現する。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、知識を身に付けている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	改訂版 高校日本史B (山川出版社)
副教材	改訂版 高校日本史ノート (山川出版社)